

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		適切な広さ、使い方ができています。必要に応じて相談室を使用し個別指導をします。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			基準を満たした配置がされています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			必要とされる場到手すりやスロープが設置されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			毎日の支援の振り返り、全体周知を継続しておこなっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			毎年保護者アンケートを実施させていただき改善につなげさせていただいている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページにて公開をしています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	3	外部評価はおこなっていないが、相談員、学校、福祉課など関係機関からのご意見を活かさせていただいています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			法人内、事業所内、外部研修に参加をし、職員全体で報告会、勉強会をおこなっています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			保護者様、関係機関とのアセスメントをおこない、ニーズや課題の整理をし計画書を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			法人内で標準化されたツールを使用し、定期的に目を通し把握をし変化等の確認をしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	1	立案は職員会議にて、日々の活動、支援については支援開始前の時間に確認をしながら支援に入っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		日報、行動観察記録、職員の申し送り表を振り返り、継続支援、固定化しないことを考え工夫をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2	1	平日放課後には室内でおこなえる支援、休日には屋外での支援や食事等の支援も強化をしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			モニタリングや全職員の気づきをまとめ、客観的分析を反映させ計画書の作成をしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			平日、放課後は毎日支援開始前。土曜、祝日、長期休暇は前日の支援終了後に確認をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			口答での振り返りをおこないながら、日報、行動観察記録とは別に全体の申し送り表を記入。職員間での共有、会議に活用をしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			行動観察記録は当日担当についた子の記録を職員が正しくとっている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			概ね3ヶ月に1回モニタリングをおこないます。必要に応じて都度検討会議をおこない見直しをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1		全体活動での支援、個別指導での支援と各々の利用者様に丁寧な支援が出来るようにしています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			児発管が参加をしていますが、必要に応じて児童指導員も同席をいただいています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			学校との連携を大事にし連絡調整や相互協力体制が出来ています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	3	現在医療ケアが必要な方の利用を受けていないが緊急時などの搬送先の把握や対応を周知しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			利用開始前のケース会議や担当者会議で情報共有をさせていただいています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6			移行支援会議をおこない担当相談員や事業所に情報提供をさせていただいています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	3	今年度は昨年度とは違いこども部会の開催がなく、連携をとる機会が減っていました。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			6	現在機会を設けることが難しく、ありません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6			開催時には管理者が参加をしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1	1	送迎時や事業所お迎え時にお話が出来る。日程調整をし面談をおこなうこともあります。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	4	ペアレント・トレーニング支援はないが相談に対し助言をさせていただき、連携を大事にさせていただくなどをしています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			見学、契約時にご説明をさせていただいています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2		相談しやすい環境を整えるよう心掛けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	4	保護者会は現在開催していません。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情受付窓口、解決責任者が適切に対応できる体制を整えています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		3	3	発行はできていないが活動の様子を見てもらえるように事業所玄関に掲示をしています。行事案内は1ヶ月前に行います。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			全職員で徹底をしています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			正しく伝わる、理解をしてもらえるよう、配慮を心掛けています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	5	今年度は地域交流がもてていません。機会があれば積極的に参加やお声掛けをしていきたいです。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			職員周知、訓練、保護者様への説明を都度おこないます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			定期的に訓練、備品の確認をおこないます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			法人内研修をおこなっている。外部研修参加者は積極的に勉強会を開き、職員の理解や虐待防止の徹底に繋がっています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			現在身体拘束はおこなっていないがマニュアル、同意書の作成はされています。今後必要時にはご説明をし丁寧に対応をさせていただきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			保護者様から医師の指示書をいただき対応をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			事業所内で作成をし法人全体でも共有をおこなっています。

児童デイSES吉田校